

# シリーズ名

# 導入蛋白質の同定が容易な筋萎縮性側索硬化症トランスジェニックマウスモデル

## こんなことができます！

導入蛋白質の解析が容易にできます。

### 【解決したポイント】

- ① ホモ接合体マウスを確立することでPCRは不要となった。
- ② 導入蛋白にFLAG配列を付加したため同定が容易となった。

### 【従来の問題点】

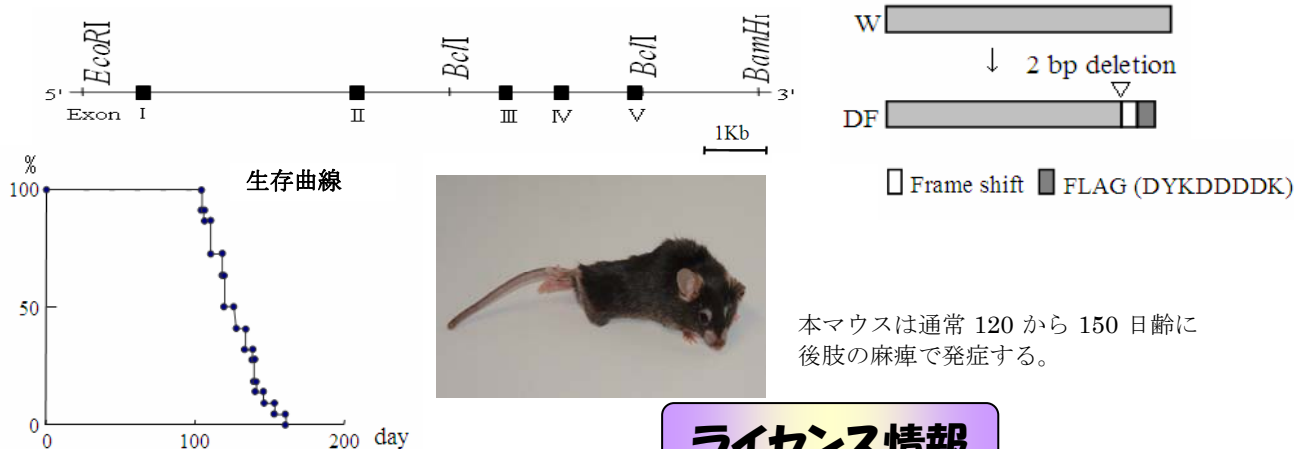
- ① 仔の遺伝子導入をPCRで確認する必要。
- ② マウス内因性のSOD1との区別が必ずしも容易ではない。

## 技術の概要

- ① 有効な治療法のない筋萎縮性側索硬化症のモデルマウスを作製した。
- ② 本マウスは4年以上ホモ接合体で維持しても表現型(フェノタイプ)に変化がない。
- ③ 変異蛋白にFLAG配列を付加したことにより導入遺伝子産物の同定が容易である。
- ④ 変異蛋白と関連蛋白について免疫染色や免疫沈降等の解析が容易になった。

## 図・写真

ヒトSOD1遺伝子はExon 1から5からなる。野生型(W)をもとに変異型SOD1 (DF) を遺伝子導入した。



## ライセンス情報

## 発明者からのメッセージ

均一な表現型を示し導入蛋白質の同定が容易なため、治療薬の開発や疾患の病態解明に有用です。

## 連絡先

- 1) 所属 / 鳥取大学 産学・地域連携推進機構
- 2) 担当者名 / 知的財産管理運用部門長 佐々木 茂雄
- 3) 電話番号 / 0857-31-6000
- 4) E-mail / s.shigeo@cjrd.tottori-u.ac.jp

- 1) 特許番号 /
- 2) 公開番号 / 特開2007-143869
- 3) 出願番号 / 特願2006-077514
- 4) 出願日 / 2006. 3. 20
- 5) 発明の名称 / 「遺伝子導入非ヒト動物内視鏡処置具」
- 6) 特許権者 / 国立大学法人鳥取大学
- 7) 代表発明者 / 中島健二
- 8) 実施権許諾・譲渡  許諾  譲渡
- 9) 共同開発・研究の意思  有  無
- 10) サンプルの提供  有  無
- 11) 技術指導  有  無
- 12) 実施実績  有  試作  実験  無
- 13) 事業化実績  有  無
- 14) 実施権許諾実績  有  無